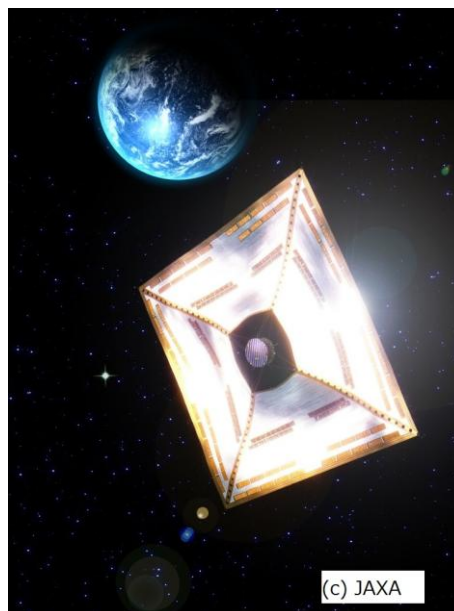


【解説のページ】

「最前線の宇宙研究」 8月6日（土）、相馬央令子（JAXA 研究員）

宇宙に行くには、地球の周りの状況を知る必要があります。最初に宇宙ゴミの現状と私達の生活への影響を紹介します。次に100年ほど前に考えられた、燃料がなくても太陽の光さえあれば宇宙を自在に進める夢のような宇宙船「宇宙ヨット」の紹介をします。世界初の宇宙ヨットは、2010年に日本の若手研究者達によって実現しました。宇宙ヨットの概要やその開発秘話などを紹介します。さらに宇宙で大きな構造物を作る技術の一つとして、薄くて大きなものを畳んで開く「ミウラ折り」があります。折り紙を使って皆で実際に折ってみます。



宇宙を航行する宇宙ヨット IKAROS (想像図)

「宇宙旅行のはなし」 8月7日（日）、高野忠（JAXA 名誉教授）

宇宙旅行は長い間人類の夢でした。すでに、1990年に秋山さんが宇宙ビジネスに、2001年にチトーさんが観光に、それぞれ行っています。これらは20数億円と高価でした。それに対し、最近では10分の1に安くなった大衆宇宙旅行が企画され、実現間近かです。なぜそんなに安くできるのでしょうか？この講演では、ロケットや旅行者が着る服装など宇宙旅行を実現する最近技術の進歩について解説します。安価な宇宙旅行ができるようになれば、誰もが、無重力状態を体験したり、超高空からの地球や地球からは分からない宇宙天空の異なる顔などを眺めることができます。そして私達が住む地球についてより深く考えることができるようになるでしょう。



宇宙旅行の楽しみ方